



前橋工科大学

平成30年12月発行

<http://www.maebashi-it.ac.jp/kouenkai/>

後援会会報

Vol. 20

Maebashi Institute of Technology Supporter's Association



後援会会長 挨拶

社会人になるために、充実した学生生活を：

小林 篤水

日頃から後援会活動にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

地域に根ざす公立大学として、人とまちの快適さを推進する学科を構成して、産業界と連携しながら、住民の生命と健康の増進、安全で安心できる環境の形成、豊かな文化の発展を目指し人とまちづくり、さらには地元産業の発展に貢献している特色がある大学です。

学生の皆さんは、さまざまな教育を受けることにより、卒業時には見違える程の知識を習得されます。その一部のお手伝いとして、後援会では教育活動、就職活動、学生活動、福利厚生支援といった、学生生活や社会人になる

ための取り組みの支援を行っておりますので、積極的に利用をお願いいたします。

また、大学生活で過ごした友人は、これからの人生においてかけがいのない財産になります。全国に友人をつくるいい機会です、一人でも二人でも多くの相談できる友人を全国にもてるよう学生生活を過ごして欲しいと思います。

子どもを心配することは、親として当然抱えております。子供たちが一層充実した学生生活を送りながら、学ぶことの喜びと誇りを持って有意義な学生生活が送れるよう、会員の皆様には、ご理解ご協力のほどよろしくお願いたします。



これからのMIT（前橋工科大学）

理事長 宮下 雅夫

工科大生のご父兄の皆さま、こんにちは。

工科大は、法人へ移行して6年が経過します。大学の在り方を定める中期目標も今年度で一区切りつきまして、設置者である前橋市は、31年度から6年間の新たな中期目標を現在策定しています。これに沿って、大学も中期計画を今年度中に定めます。

皆さまからお預かりしている子弟を大切にきめ細やかに指導し、これからの時代に必要とされる技術者を養成すべく、中期目標を定め、改革・改善を進めてまいります。

21世紀は、大量生産というものづくりの技術から持続可能な社会に寄与する人を支える技術、文化を創造する技術が求められております。

本学では、「人間性と創造性に富む技術者を輩出する大学」を目指して、教育力リキュラムを組み、教職員一丸となって取り組んでおります。

おかげ様で、卒業生に対する評価も高く、就職は大手企業を中心に素晴らしい成果を上げており、また、大

学院への進学者も本学のみならず、東大を始め国公立の大学院への進学者も増えてきております。

ところで、少子化の影響もあり、大学は厳しい状況にさらされております。本学は、入学者も定員を上回って確保はされておりますが、今後も引き続き、魅力アップに努め、在学生に満足してもらえる大学こそが、高校生にも選択してもらえる大学との認識に立ち、そうした大学づくりを目指してまいります。

この4月からは、新実験棟の供用も始まり、また、新たに改修された図書館3階のラーニングコモンズやリニューアルされたメイビットホールは多くの学生に、キャンパスライフの拠点として活用いただいております。

結びに、ご父兄皆さまのご健勝・ご活躍をお祈りいたしますとともに、後援会のご発展をご祈念申し上げます。後援会報のごあいさついたします。

平成30年度 入学式

平成30年度4月5日(木)、昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)で、入学式を挙行了しました。

工学部入学295名、博士前期課程入学54名、博士後期課程入学3名、研究生入学3名、以上355名が入学しました。

学長から

「人間と生活をより豊かに快適にすることが、工学の使命です。工学の基礎は身をもって理解することです。講義や演習、実験、また目を世界に拡げ、ぜひとも自分の心と身体で体験してください。また試行錯誤をつうじて、自分の考えを実現してください。豊かな創造性と人間性を育み修得した成果を社会に発信し、世界で活躍できる専門能力を育ててください。前橋工科大学における勉学、研究、学園生活が知的創造と、豊かな人間性を育むことを願います。」と、入学される皆さまを歓迎した、式辞がありました。

新入生代表者から

「学則を守り勉学に努め、品性の陶冶に努力し、学生としての本分を全うし、本学開学の精神に沿い、学風の確立に邁進することを誓います」との宣誓がありました。



新入生代表宣誓

平成29年度 学位記授与式

平成30年3月26日(月)、昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)にて、学位記授与式が挙行され、工学部卒業268名、博士前期課程修了43名、博士後期課程修了1名、以上312名が本学の学び舎を巣立っていきました。

学長から

「学位記を授与されたみなさまは、生きるというステージを一段昇ったこととなります。自らの路を選択し、自分の意図や構想、発想や夢を実現しようとする可能性と行動力を修められたことを証するものであります。困難に直面しても立ち向かっていく事が出来ると信じております。皆さまのこれからのご活躍を心よりお祈りして、門出のお祝いする言葉といたします。」と式辞が述べられました。

卒業生代表者から

「卒業を節目に様々な道に向かって進んでいきます。どの様な壁があっても乗り越え、さらなる飛躍をする気概を持ち続けていきます。そしてそれぞれ自覚と誇りを持ち、本学で学んだ全てを発揮できるよう、努力し続けることを約束します。」と答辞がありました。



学位記授与

CAMPUS LIFE

新入生歓迎会

4月14日(土)本学の体育館で新入生歓迎会が開催されました。

人間知恵の輪、のど自慢コンテスト、部活動・サークル紹介があり、新入生や先輩との「つながり」を持つことができました。

二次会では先輩から学校生活などのアドバイスを聞いたり、新入生同士で楽しくコミュニケーションを取ることができ、絆を深めることができました。



球技大会

5月26日(土)27日(日)に本学の体育館で球技大会が開催されました。

フットサル、バスケットボール、バレーボール、ドッジボールの4種目に参加し、仲間や友達と汗を流して交流を深めることができました。



合同運動会

6月24日(日)群馬県立女子大学の体育館で本学学生自治会と群馬県立女子大学学友会が協力し、合同運動会を開催しました。

障害物競走、二人三脚、パン食い競争、しっぽ取り、チーム対抗リレーなどを行い、大学間の交流を深めることができました。

後援会活動

総会

6月2日(土)、前橋工科大学1号館151講義室において「平成30年度講演会及び総会」を開催しました。

総会には、沢山の保護者の方にご出席をいただき、新役員の紹介・事業及び予算等の議案について承認されました。

後援会では本年度も学生生活と大学事業の支援を行っております。

事業及び予算等の詳細につきましては、後援会ホームページに「事業について」内に掲載しましたので、ご参照ください。



講演会

講演会では、前橋工科大学キャリアアセンター・コーディネーターの阿部英年氏をお迎えし「就職活動における保護者の関わり方、インターンシップの重要性」と題し講演をいただきました。

現在の就職活動は、保護者世代のものとは就職活動マーケットだけでなく、手順・内容・スケジュールなど就職活動方法が大きく様変わりしています。

売り手市場と言えども、実際には厳しい状況であるためインターンシップが就職活動に大変重要なポイントとなっています。そこで、インターンシップとは何か、どのような役割を果たしているのか、注意しなければならない点などのお話がありました。

その中で、保護者と学生がどのように関わって就職活動を乗り越えていくのかを、具体的に分かりやすく講演していただきました。講演の中では、学生がインターンシップに参加する時期や、就活生が実際に保護者に支援してもらった嬉しかった事、嫌だった事などの学生からの実際の声もお話がありました。

また、企業サイドからの目線も折り込み講演が行われました。

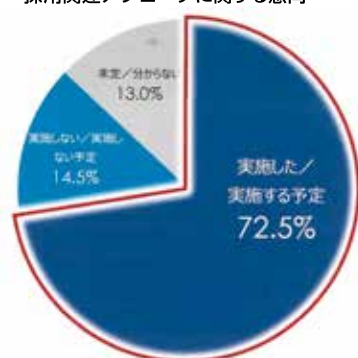
阿部氏から保護者の皆様へ「就職関係で困ったことはキャリアアセンターに相談を」のメッセージをいただきました。キャリアアセンターには企業や学生からの情報がたくさん集まっているのです。コーディネーターならではのアドバイスもあるはずです。

前橋工科大学は県外出身の学生が78%となっていますので、日頃、顔を合わす機会が少ない保護者の方も少なくないと思います。

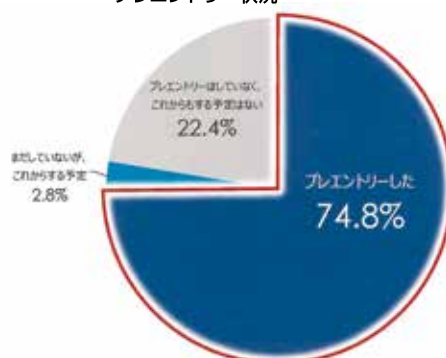
是非お子様とのコミュニケーションにお役立ていただけたらと思います。



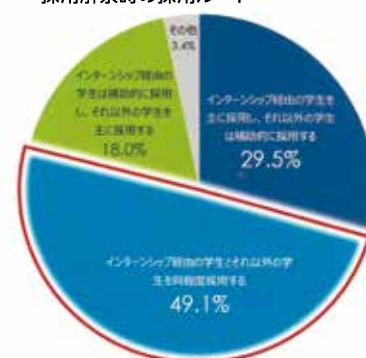
■インターンシップ参加学生への採用関連アプローチに関する意向



■インターンシップ先企業へのプレエントリー状況



■インターンシップから採用解禁時の採用ルート



後援会助成事業 ～学生生活を支援しています～

英語力支援事業

後援会では学生の語学力向上や専門分野の学習促進に繋げるための支援も行っています。

本学では、代表的な英語検定試験のひとつであるTOEIC L&Rテストを受験して基準の成績を取めた学生に対し、「キャリアTOEIC」の単位を認定しています。

【TOEIC受験料支援】

「聞く」「読む」「英語力を測る事を目的としたTOEIC L&Rテストは年10回、全国80都市で会場で受講可能です。

学生1人につき1回2,000円、年間2回（合計4,000円）の受験料支援を行っています。

【ビギナー英会話教室の開催】

平成30年5月8日～7月10日の毎週火曜日、前橋工科大学多目的ホールにおいて、「ビギナー英会話」を開催しました。

外国人講師をお迎えし、ネイティブな発音や表現力に直接触れると共に、就職や留学や旅行先で役立つヒントなどレッスンを通じて楽しく学びました。

就職活動支援

平成30年度もキャリア手帳を3月に作成予定です。

この手帳は就職活動を行う学生に積極的に行動し活用していただきたいと考え、毎年作成をしています。

キャリア手帳の主なコンテンツとして自己PR、マナー、企業分析、エントリーシート・履歴書の書き方、適性検査、面接試験、内定確認、報告等です。これ1冊でスケジュール管理もでき、就職活動に必要な知識も学ぶことができます。

進路実現に向けて、活用してください。

大学生協支援

学生が大学生協を有効に活用できるよう「生協利用券」を発行しました。

使用期間は平成29年9月1日から平成30年2月28日までとなっています。おつりが出ないため利用しやすい様に、学生1名につき300円の券を10枚綴りで計3000円分の支援をしています。

大学生協の売店では、飲料やパン・お弁当等の他、文具品にも使用できます。またメイビットホール2階の食堂では、定食や麺類など豊富なメニューが取り揃えてあります。また季節ごとのアレンジメニューもあり、美味しく、楽しいランチタイムを過ごしています。学生の皆さんは工夫して日々の学生生活に役立っています。

保護者の方には、保護者会に参加していただいた際に、「学食体験会」にて学食を味わっていただきました。

後援会では、有意義な学生生活を過ごしていただけるよう、生協支援を続けて行きたいと思っています。



料理教室開催支援

平成30年4月21日（土）、前橋工科大学メイビットホール2Fの学生食堂で、学生が講師となって、生協学生委員が各学科の新生入生（昼の部と夜の部を合わせ男子20名・女子17名・計37名）と料理を楽しみました。

…初めての一人暮らしで不安がいっぱい…？食事はどうしよう…？自炊も初めて…。

先輩たち（学生委員会）が、新一年生のために、今年も企画しました。ひき肉をこねて作る手作りハンバーグ、きんぴらごぼうとポテトサラダの3品にチャレンジ。

さがきやみじん切り、せん切りなどの包丁の使い方も、先輩たちが丁寧に教えてくれました。

ハンバーグは温度計を使用し、中までしっかりと火を通すことにも心掛けて調理。

他学部の仲間とも会話が弾み、みんなで協力し合い楽しみなが料理が完成……

そしてドキドキしながら迎えた試食タイム。

「美味しい!!」「楽しい!!」と大好評でした

後援会では、学生の食育向上と、在学生と新生入生との交流を深めることを目的として、料理教室助成を行っています。



卒業後の進路

平成30年3月末日現在

平成30年3月卒業生の就職先

※一部抜粋して掲載

大学(学部)	社会環境工学科	システム生体工学科
	(株) アイ・ディー・イー アイシン開発 (株) 遠鉄建設 (株) 小川工業 (株) 加藤建設 他	上田日本無線 (株) 小林製薬 (株) ジーシーシー システムセイコー (株) 静光電機工業 (株) 他
	建築学科	生物工学科
	(株) アクキュラホーム (株) 石井設計 イデキョウホーム (株) エイ・ジー・サービス (株) 他	アース環境サービス (株) (株) アウトソーシングテクノロジ (株) 岩田商会 エンターリンクス (株) 群馬銀行 他
	生命情報学科	総合デザイン工学科
大学院	エヌ・ティ・ティシステム技研 (株) くんぎんシステムサービス (株) コンピューtron (株) (株) 三恵クリエス 他	(株) アーキジャパン (株) 一条工務店群馬 井上ビニール (株) ARアドバンストテクノロジ (株) 他
	建設工学専攻	システム生体工学専攻
	鉄建建設 (株) 千葉県庁 自営業	会津オリンパス (株) (株) 小野測器 サンデンホールディングス (株) 白河オリンパス (株) 他
	建築学専攻	生物工学専攻
	(株) 石井設計 (株) NTTファシリティーズ (株) 大林組 (株) 正和 (有) スタイル (株) 鐵建 他	アース環境サービス (株) カーリットホールディングス (株) (株) 大協精工 (株) 高山医療機械製作所 他
大学院	生命情報学専攻	
	(株) インテック (株) NTTデータ (株) MDI (公大) 前橋工科大学 他	

※詳細は大学キャリアセンターHPをご覧ください。

<http://www.maebashi-it.ac.jp/career-center/>



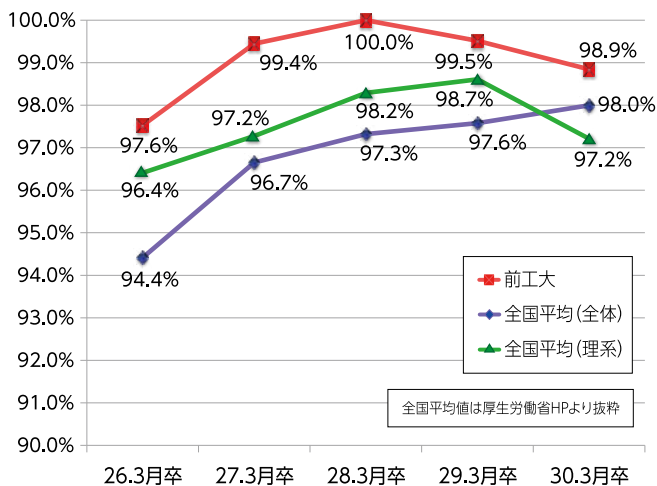
平成29年度 学部卒業生 就職・進学状況

工 学 部 名	卒業生数	就 職 希望者数	就職者数	就 職 率	大 学 院 進 学 者	専門学校等 進 学 者	そ の 他
社会環境工学科	47	44	44	100.0%	3	0	0
建 築 学 科	58	38	37	97.4%	17	0	3
生命情報学科	44	30	30	100.0%	10	1	3
システム生体工学科	39	21	21	100.0%	17	1	0
生 物 工 学 科	44	23	22	95.7%	18	1	2
総合デザイン工学科	36	31	31	100.0%	1	1	3
合 計	268	187	185	98.9%	66	4	11

平成29年度 大学院修了者 就職・進学状況

工 学 研 究 科 専 攻 名	修了者数	就 職 希望者数	就職者数	就 職 率	後期課程 進 学 者	専門学校等 進 学 者	そ の 他
建設工学専攻	3	2	2	100.0%	0	0	1
建築学専攻	14	13	12	92.3%	0	0	1
生命情報学専攻	5	4	4	100.0%	1	0	0
システム生体工学専攻	11	11	11	100.0%	0	0	0
生物工学専攻	10	9	9	100.0%	1	0	0
環境・情報工学専攻	0	0	0	—	0	0	0
環境・生命工学専攻	2	0	0	—	0	0	2
合 計	45	39	38	97.4%	2	0	4

学部学生就職率の推移



※就職率は、卒業年度中に就職活動を行い、卒業後速やかに就職を希望する者であり、進学・自営業・家事手伝い・留年・資格取得等を希望する者は含まない。

後援会からのお知らせ

後援会活動についての詳細は、下記ホームページをご覧ください。

学生たちがより充実した学生生活を送る事が出来るよう、保護者のみなさまからご意見・ご要望・情報提供などもお待ちしております。下記よりメールにてお寄せ下さい。

前橋工科大学後援会事務局 (前橋工科大学学務課学生係内)

〒371-0816 前橋市上佐鳥町460-1
TEL : 027-265-7361 FAX : 027-265-3837

E-mail : kouenkai@maebashi-it.ac.jp
ホームページ : <http://www.maebashi-it.ac.jp/kouenkai/>



平成30年度予算

(収入)

(単位：円)

項	本年度予算額	説 明
1 会 費	15,910,000	@50,000×293名、@40,000×3名、@30,000×4名、@20,000×51名
2 繰 越 金	5,741,602	前年度繰越金
3 雑 入	8,398	利息加入等
収 入 合 計	21,660,000	

(支出)

項	本年度予算額	目 金 額		説 明
		区 分	金 額	
1 会 議 費	500,000	1 会 議 費	500,000	総会、役員会、懇談会、合同新年会等
2 総 務 費	3,310,000	1 共 済 費	60,000	書記福利費(社会保険料)
		2 交 際 費	50,000	入学式・学位記授与式生花等
		3 需 用 費	500,000	事務用品、会費振込用紙印刷費等
		4 役 務 費	300,000	通信費、振込手数料等
		5 委 託 料	2,400,000	事務委託料
3 事 業 費	14,350,000	1 事 業 費	1,550,000	会報作成、卒業記念品、バック作成等
		2 助 成 費	12,800,000	学園祭助成(翌年度)
				学科助成 2,500,000
				部活動助成 2,000,000
				学生・福利厚生助成金 500,000
				教育支援助成 2,000,000
				生協助成 3,900,000
6 予 備 費	3,500,000	1 予 備 費	3,500,000	就職活動費 800,000 保健助成 100,000
支 出 合 計			21,660,000	